

20周年 けやき コミュニティ ニュース

No. 97号 (通算121号) 2010年3月5日発行

「新しい時代を拓くコミュニティ」

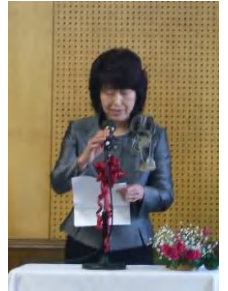
2009年12月6日、開館20周年の式典を行いました。心を新たに一步一步。さてこれからどんな出会いが待っているのでしょうか。楽しいことがはじまりそう！

どうぞけやきコミセンで一緒に～

ご挨拶

代表 島森 和子

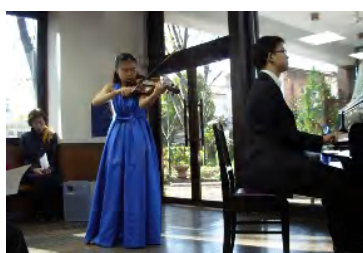
この度けやきコミュニティ協議会が開館20周年を迎えることができ、喜びを感じると共に皆さまに厚く御礼申し上げます。



今日のけやきコミュニティ協議会があるのは、コミセン開館以前からご苦労された先輩の方々、運営委員・協力委員の皆様の努力の賜物であり、かつ地域の皆さまのご協力に支えられているものです。これからも“けやき”らしさを生かしながら、さらなるコミセンの充実、発展をめざしコミュニティ活動を通じて自分たちの手でまちづくりをしていくという夢をもって、たくさんの皆さまが楽しく活動されることを願っています。



式典・祝賀会



ミニコンサート 入江さん&大越さん



若松倫夫氏植物画展

ジオラマ作成 けやきの未来図は??

*記念誌「新しい時代を拓くコミュニティ」

けやきコミュニティセンターの20年間の活動や歩みをまとめました。

ご希望の方は窓口までお申し出ください。

平成22年度

◆住民総会のお知らせ

日時 4月17日(土) 13時から

けやきコミセン ホール

◆運営委員・協力委員を募集します

詳細は4面をご覧ください。

**あなたの参加はまちづくりの第一歩
ご参加をお待ちしています。**

けやきニュース 97号紙面から

- 2面 活動の報告 どんど焼きとむかしあそび他
- 3面 まちづくり局紹介
- 4面 住民総会・運営委員募集のお知らせ
むさしのミニタウン
- 5面 コラム「ドラちゃん的眼」
学生から見たけやき
- 6面 けやきコミセン物語 (4)

◆ どんど焼きとむかしあそび ◆



平成22年1月9日(土) 10時～
毎年恒例の「どんど焼きとむかしあそび」
が大野田小学校にて開催されました。
今年のテーマは
「体験しよう 日本の伝統文化を！」

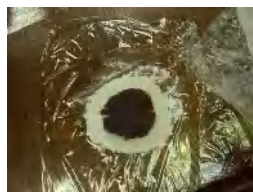
今年は好天に恵まれ、とても沢山の方々に参加
されました。RIKIOHの勇壮な「よさこい踊
り」に始まり、年男・年女でどんど焼き点火。
その後のお汁粉のふるまいには長蛇の列。約
1000食分用意したお汁粉は完食でした。

むかしあそびは、羽根つき・こままわし・ゴム
段・福笑いなど親子一緒に楽しんでいる様子が印
象的でした。

ご協力いただきました大野田小学校の先生方、
地域の皆様本当にありがとうございました。

実行委員長 足立

あそび隊企画 ◆ いちご大福づくりとお抹茶体験 ◆



平成22年2月14日(日) ●1時30分～ ●2時30分～

36名の小学生が2グループに分かれていちご大福
を作り、お抹茶を自分でたてて飲みました。

いちご大福作りでは、いちごとあんこがとび出さないよ
うにみんな頑張って包んでいました。

いちご大福を作り終わったら今度は和室へ・・・

雰囲気をはらりと変えて正座でお手前を教わりました。

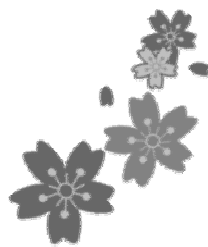

お抹茶がなかなかたらずに悪戦苦闘。

にが～い！美味しい！など感想様々・・・いい経験にな
ったことと思います。

けやきまちづくり局



私たちはみんなで力を合わせて住みよいまちづくりを目指します。
 ♪この指とまれ！で結成されたチームの集まりです。どのチームもいつでもどなたでも参加できます。
 是非いらしてみてください。新しい出会いがあなたを待っています。

チーム名	ひとこと	定例会	活動内容
からだほぐしとお食事の会	ちょっと外に出て、いらしてみませんか。 素敵な新しい出会いがあるかも…	隔月開催 参加費:300円	玄米ダンベル体操などでからだをほぐし、手作り季節料理を味わいましょう。 午後はお楽しみタイム。
風と歩こう	武蔵野の自然の中を歩きます。季節の移ろいを肌で感じながら…	第2火曜日朝9時 武蔵野中央公園に集合	第2.4火曜日 夜8時から ナイトウォークで地域のパトロールを兼ねて歩いています。
けやきガーデナーズ	種まきからのガーデニングをコンセプトに、けやきコミセンの花壇&周辺のミニガーデンの手入れなどを行っています。	毎週月曜日 10時から12時まで。 但し祝祭日は火曜日に振替え	春秋2回の花市開催。 オープンガーデン・園芸相談 フラワーアレンジメントなど 楽しい企画満載です。
けやきあそび隊	大人も子どもも一緒にあそぼう。 遊ぶの好きな人集まれ！！	けやきニュース・チラシ等で、その都度募集します。	夏は夏休み企画 秋は月見だんごを作ろう！ 冬はイチゴ大福とお抹茶体験。 そしてクリスマス&ハロウィンなど、和洋の文化を楽しみます。
まちの中の美術館	まちの中の たくさんのすてきに 出会いたい。		美術館めぐり、町歩きやギャラリーの展示、手作り講座などの楽しい企画満載。 コンサート開催もあります。
けやき囲碁のつどい	碁は手談とも言われ、一手1手に思いをこめます。 楽しく対局しませんか	毎月第2日曜日 1時から5時まで	年に1回、囲碁大会を開催しています。
パソコン倶楽部	マイパソコン、マイデジカメを使いこなそう。 学ぶ心、遊び心を持って！	毎月第2火曜日 1時30分から	ワードやエクセルの基本機能をマスターし、レベルアップを目指します。
よみ聞かせ紙ふうせん	幼児や小学校低学年の子どもたちを対象に読み聞かせと紙芝居・折り紙など。	毎月第4土曜日 11時から12時	新しいスタッフ加わってレパートリーが増えました。 大人も子どもも楽しめます。
けやき茶社	男のロマンを感じるカフェ。何ととってもおいしいサイホンコーヒーが魅力。手作りスイーツつきです。	毎月第3土曜日 2時から4時	今年の2月に丸5年となっております ますます張り切る男性陣です。 極上の中国茶もポットで用意しています。
エト研究会	“ありがとう”を エト券にこめて…		昨年のエトフェスタでは、沢山の「ありがとうのコミュニティ」が うまれました。
あっとおどろくエコクラブ	子どもと一緒に 地球の環境を守ろう！ ストップ・ザ・温暖化！		

* 住民総会のお知らせ *

4月17日(土) けやきコミ センホールにて

13時～ 地域の方のお話を聞こう 「浜俊子さん(武蔵野女性史編集者)」

14時～ 住民総会 けやきコミセン活動報告・会計報告など

* 終了後けやき茶社の珈琲を一緒に！(住民総会参加者は無料)

平成22年度 運営委員・協力委員を募集中です

けやきコミュニティセンターは

武蔵野市のコミュニティ条例の、自主三原則「市民の自主参加・自主企画・自主運営」を基本原則に市民がまちづくり・コミュニティづくりをすすめるための施設です。

けやきコミュニティ協議会が、市民のボランティアによって運営しています。

運営委員 募集期間3月1日～15日まで と 住民総会当日

けやきコミセンの管理運営・まちづくりの企画や活動を積極的に進めます。

希望された方は3月20日(土)13:30から運営委員候補者総会にご出席ください。

協力委員 募集期間3月1日～31日

まちづくり活動(イベントやまちづくり局など)に協力していただきます。(年間を通し募集)

**** 申し込み・お問い合わせは けやきコミセン窓口で受け付けます。(水曜休館) ****

ユニークで開かれたけやきコミセン!

人と人をつなぐまちづくり・コミュニティづくりを

けやきコミセンで一緒に・・・

子どもがつくるまち 第4回 むさしのミニタウン

★今年の春休みも「むさしのミニタウン」を開催します!!★

2010年3月27日(土)・28日(日) 10時～15時 会場:大野田小学校校庭にて

対象:4歳～中学生(未就学児は大人の付き添いが必要です)

参加費:100円(保険代含む) 持ち物:マイ食器・マイカップ

*大人の方は、おとな村入村料として200円(ツアーガイド付き)

子どものまちにはどんなお店、物があつたらいい?必要なものは何??

実行委員会の子どもたちで沢山話し合った結果・・・

今年はまちにはこんなものが出来そうです。

あなたはどこで働きたいかな? まちの中で何をしたいかな? 今年も待っています!

食べ物系

ラーメン・ホットボール・タウン汁
・駄菓子・パン耳スナック etc...

公共系

市役所・銀行・大学
・職安・警察 etc...

アミューズメント系

ゲームセンター・お絵かき屋・花屋
・ぶにぶに風船 etc...

**※大人サポーター大募集中です!! 前日26日午後の設営・当日の子どものサポート etc
お手伝いいただけるようでしたら、事務局までご連絡ください。**

むさしのミニタウン事務局 連絡先:080 6809 5843

Eメール:mmt-musa2007@ezweb.ne.jp

ドラちゃんの眼

成蹊大の学生たちと武蔵野市を研究しているドラちゃんが、今、このまちで起っていることを皆さんにお伝えします。

第6期コミュニティ市民委員会報告書についてもっと議論を！

第5期の市民委員会では、「市民と行政とのパートナーシップに基づくコミュニティづくり」をテーマに、地域住民主導のコミュニティづくりを提案し、コミュニティ活動で起きた諸問題は「コミュニティ研究連絡協議会」が取り組むとしました。そして「コミュニティのあり方懇談会」がコミ研連に設置されました。第6期の報告書は、コミュニティづくりに際して、コミュニティ協議会がどのような活動をすればよいかを中心に述べています。市民のみなさんの意見をもとにまとめました。まず協議会に対して、協議会メンバーや窓口はつながりを求めている人どうしを結びつける「ともだちづくり」をお手伝いする。そして気軽に立ち寄れる雰囲気、おしゃべりのできる交流の場、出会いのきっかけとなるイベント等を用意する。さらに地域団体に活動の場として施設を提供し、自らは団体どうしの連携や情報共有を進めるコーディネーターの役割を果たすなどです。一方行政に対しては、コミュニティづくりの側面支援に徹するように「行政の三原則」を新たに掲げました。それは「金を出すが口は出さない」という「側面支援の原則」、支援の実施は協議会からの要請に待つという「市民要請の原則」、支援は協議会と協働で行うという「支援協働の原則」の3つです。

しかし残念ながら、協議会の活動の評価方法や協議会と地域のNPOとの関係づけ、行政との一歩進んだ協働等は、「さらなる論点」として先送りされています。

この報告書の内容について、各コミセンでどうか活発に議論してください。

学生から見た けやきのまちづくり

このコーナーでは、けやきで活動する学生達が、けやきで見つけた様々な発見について、皆さんに発信していきます。

成蹊大学経済学部 長澤文哉

部活でけやきコミセンにお世話になるようになってからもう二年が経ちました。そのなかで僕は様々なことを考えました。

僕たち成蹊大学地域交流部は学生のうちからボランティアとして、けやきコミセンと関わりを持つことでその地域交流の大切さや楽しさを体感し、また意欲的に社会人と接することはよい刺激になると考えています。

特に印象深いのは夏まつりです。僕たちは部屋を貸していただき、学生の持ち込み企画としてお化け屋敷をやらせていただきました。お化け屋敷なんて高校の文化祭みたいなノリのものでいいのかと思いましたが、けやきコミセンの方々はずんなりと許可をくれました。当日にはたくさん子どもたちが遊びに来てくれて楽しかったです。

現代では都市化が進み、社会が複雑になり、社会の分業化が進むにつれ、人々の意思疎通が困難になってきました。このような現状に対処するには、新しい感性をもった主体間の交流と連携が不可欠だと思います。けやきコミセンはそれができる素晴らしい場所だと思います。

けやきコミセン物語 (4)

「自由に使えるコミュニティセンターがほしい」と準備会が発足したのが1982年。以来7年間の知恵と力を尽くした大勢の協力が実って、「けやきコミセン」ができて20年たちました。80年代のこの地域は、人通りの少ない静かな町でした。この20年間でまちの中の人の流れが変わりました。人通りが多くなり、北にも南にも行きかう人がたくさんいます。まちの中で挨拶や立ち話が増えました。たくさんの大小のグループが活発に活動し、子供から高齢者まで世代や性別を超えたお付き合いが生まれています。



けやきコミュニティセンターは毎朝9時半から、夜9時半までが開館時間です。管理運営は近隣住民の自主参加に任されています。事務室では二人のお当番が1日3交替で時間内の館の受付業務・管理運営全般に責任を持ちます。この部分だけが有給で運営委員の約40人の人によって交替で担われ、ほかのすべての仕事は自発的な活動の参加です。運営委員は毎年3月に公募します。(現在公募中!)

学習室・子どもルーム・コミュニティルームの3部屋は事前の申し込みは要りません。どの部屋も明るく日当たりのよい快適空間です。受験期が近づくと2階の学習室に朝はやくから来館する若者たち、土日の子どもルームには幼児連れの若いお父さんや、孫を預けられた新米おじいちゃんなどの姿も見られます。

コミュニティルームは飲食自由でいつもテーブルに花が絶えません。ふらっと寄れる、お茶飲み、読書に、待ち合わせに、またちょっとした打ち合わせや、子どもたちのゲーム遊びにと、いつも幅広い年齢の人たちによる多様な利用でにぎわいます。

毎月第3土曜日の午後は、ご近所男性たちがチェックのエプロンで「けやき茶社」のマスターに変身、本格コーヒー(150円)や中国茶と手作りスイーツが好評で、もう5周年を迎えます。月曜日の昼時には、毎週けやきガーデナーズの作業後のお茶の時間。月2回の火曜夜8時にここから出発するナイトウォークは、分散しての町内見回りを兼ねて、帰りにまた寄って熱いお茶を飲みながらの情報交換とおしゃべり。大きなイベントのときは、ここが食堂になりおいしい匂いがたちこめます。あるときはミニコンサートの会場、また休館日(水曜日)には、研修会会場など、曜日により時間によって、地域のリビングルームとしていろいろな使い方をされます。

コミュニティセンターは、地域の人々が気軽に使える「場」としての機能と同時に、「まちづくり・コミュニティづくりの拠点」としての機能も期待されています。まちの中で、人と人との結びつきが増え、語り合いが増えると、お互いの信頼が生まれ、地域の情報も集まり課題も見えてきます。けやきの20年はよく遊び、よく話し合い、その結果まちの内外に人をつないで来ました。それは「えらい人をつくらない」という自覚と深く考え、学びつづけた年月でもありました。

誰でもが人に対してやさしくなれる、これがまちをつくる地域力です。今、世の中は解決できそうにない困難が山積する中、人の生活の場である地域から「大勢の人の絆」に支えられた「信頼」とか「やさしさ」を発信することが、私たちにできる未来への最大のおくりもの、コミュニティセンターのできる「まちづくり」ではないでしょうか。(Y.A.)

けやきコミュニティ協議会

武蔵野市吉祥寺北町5-6-19

TEL 0422-54-8719

<http://www1.parkcity.ne.jp/keyaki-c/>

開館時間 9:30~21:30 水曜休館

☆ 編集後記 ☆

21年度最後のけやきニュースが完成いたしました!
「けやきニュース」のメンバーは日頃、家事や子育て、学校や仕事で忙しく飛び回っていますが、ニュースの締め切りに追われながらも、けやきコミセンの活動を取材したり、地域をじっくり観察することで、普段の生活ではキャッチ出来ない事を学んだり感じたりしてこの一年間とて